



「卒業生に向けて」

図書館館長 佐々木 香

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

4月からの就職に向けて、或いは、更なる進学に向けて準備は進んでいるでしょうか。

「えっ、準備？何の？」とおっしゃるそのあなた、「あ～、終わったー！思いっきり遊ぼうぜ～、」と実践されている方々、ちょっと私の話を聞いてください。



就職が決まってから実際に働くまでの過ごし方の一つに、その後の職場での評価に大きく影響することがあります。何かと申しますと、**本をたくさん読む**ことです。いろんな人がいろんな場面でおっしゃいますし、「そんなこと、耳にたこができるほど聞いているからわかってるよ。」と言われそうですが、わかりきっていることですが、常に何冊も読み進めていくというのが、実は、なかなかできないんですね、これが。

みなさんは、これからこの職場でも、さまざまな報告書、企画書、寄稿文など書く場面があるでしょう。そんなとき、上司から「おっ」と感心される文章が書けるでしょうか。

前に、図書館便りで、論文の書き方について、読み手の気持ちに立った論文ということで先生が触れられていました。

私が最近読んで、なるほどと感心させられっぱなしの本の中に、仕事上では言うまでもなく「読み手の立場で考え、伝えたいことが正確に伝わる文章、一読してすぐわかる文章、ずっと読める文章」を心がけることが重要だとありました。「上司はとても忙しい中で読まなければならない文書の一つとして眺めるだけ」のときもあるわけです。

本をたくさん読んでいると、無意識のうちになんか知識の引き出しができていくと思います。短い時間で、集中して考えているとき、ぱっと過去に読んだ本の中からよい案が浮かんでくるときもあります。

最後になりますけど…

みなさん、本を読むだけで、確実に文書力はアップするのです。



「図書館を利用して思うこと」

卒業生：法学部4年 勝田祥平

私は、大学在学中、図書館には大変お世話になりました。

私が図書館をどのように利用したかを3つに分けて伝えていきたいと思います。

まず1つ目は、「環境」です。1階と2階に広い学習スペースがあり、開放的な空間のもと、学習に励めたので、効率良くできたと思っています。

2つ目は、「情報収集」です。新聞や複数紙、そしてインターネットが完備されていたので、時事対策や、就職対策に最大限の準備ができました。

3つ目は、「学習の場」です。卒業論文を作成する際、過去の白書や研究論文を参考にしながら、書き進めていくことができ、無事完成をすることができました。

私は、図書館を通じて「継続して学習する力」を培い、得ることができました。

この習慣は、社会人になっても、必ず活かせると感じています。

皆さんも、将来の職業などに向けて必死に頑張っていると思います。その目標や夢を少しでも近づけ、叶えるために、是非、図書館という場所を有効活動してみたいはかがでしょうか。



図書館からのお知らせ

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

大学生活は楽しかったでしょうか？

やり忘れたことはありませんか？

もし図書館に本を借りたままの人は**必ず**返しましょう！

また、**大学を卒業した後も図書館をご利用できます。**

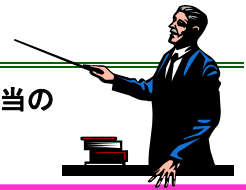
本を読みたいときや静かに勉強をしたいときはいつでも図書館を利用してください。(利用の際は初回だけ身分証明書が必要になります。)





資格取得関係資料について (第3回目)

資格取得資料について、第三回目は観光研究室担当の井上寛先生と司法研究室担当の川口誠先生のお二人に問題集とそれを利用した勉強法についてお聞きしました。



観光研究室担当 井上寛先生

●観光のプロを目指すうえで、旅行業や宿泊、航空、鉄道などのしくみ全体を理解するうえでぜひ受験をお勧めするのが、国家試験の「国内旅行業務取扱管理者」です。旅行会社には原則としてこの資格を持っている人が営業所に1人以上必要で、就職後も役に立ちます。

この試験は、毎年一回9月に実施されます。試験は、①旅行業法、②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款、③国内旅行実務です。例年各科目6割以上が合格とされています。前期に開講される『国内旅行管理者の受験入門』を受講して、内容を理解できたら、ひたすら過去問を解きましょう。例年、日曜な問題が数多く出題されます。『旅行業務取扱管理者 国内テーマ別問題集』や『観光地理(国内・海外) 解いて覚えるトレーニング問題集』などがお勧めです。また、図書館にあるDVDを視聴して観光地理の学習をするのもお勧めです。



司法研究室担当 川口誠先生

●その名称が示すように、司法研究室は、司法試験に合格していわゆる法曹三者(裁判官、検察官、弁護士)になろうとする学生に勉強の場を提供することを一つの目的としています。しかしそのためには、まず①法科大学院へ進学しなければなりません。また、この司法試験は国家試験の中でも難関で、なかなか合格することは大変です。そこで、各人の関心分野の知識を活かした②法律関連の公務員を目指す学生もたくさんいます。さらには、民間企業の法務部スタッフも一つの選択肢です。③法学検定は、法学部でどの程度まで実力をつけたかをはかる目安にもなり、どのような進路を目指すにせよ是非受験して欲しい試験です。今回はこのような趣旨で問題集を選んでみました。

- ①2014 法科大学院適性試験 過去+予想 問題集
- ②公務員試験 法務教官(法務省専門職員 (人間科学))問題と対策
- ②公務員試験 家裁調査官補「総合職」問題と対策
- ③2013 法学検定試験問題集 ベーシック(基礎)コース
スタンダード(中級)コース
アドバンスト(上級)コース

ところで、問題集を使う勉強方法は、ある程度その科目、分野の勉強が進んでからとるべき方法だと思えます。どこをなぜ間違えたのかということをチェックすることで、どこまで基礎を固めたかを確認すると同時に、次のステップへの足がかりになるからです。まず教科書、参考書などを何度も読み返して、そこそこの基礎学力をつけてからチャレンジしてください。



hottoひと息



私は今、懐かしく思いながら夏目漱石の『こころ』を読んでいます。というのも自分が学生の時に先生に「夏目漱石や芥川龍之介など知っている作家の書いた本を学生時代に全部読んでみる」と言われ、夏目漱石の『こころ』を読んだものでした。4年間もしくは2年間を過ごした学校の景色、友人と遊んだこと、勉強・就活のこと、すべてが鮮明に思い浮かぶと思います。あなたが先生と過ごした時間の中で鮮明に覚えている先生の言葉はなんですか？

記事:みずほ



《利用案内》

- 開館時間 月～金 午前8時30分～午後5時10分
※休館日(土・祝日、創立記念日4月26日)
- 貸出期間 2週間 ※長期貸出期間(夏季・冬季・春季)有り
- 貸出冊数 3冊まで ※卒論貸出・長期貸出5冊まで



ノースアジア大学附属図書館

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1
TEL018-836-2407 E-mail naulib@nau.ac.jp